

報 告

婦人科腫瘍委員会報告

2023 年胞状奇胎地域登録成績

本年報は、2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日に診断された胞状奇胎症例（22 地域、1,656 施設）の登録成績を集計したものです。

従来、婦人科腫瘍委員会では「絨毛性疾患地域登録成績」として、胞状奇胎を含む絨毛性疾患全般の集計結果を報告してまいりました。

しかし、2023 年 1 月以降に診断された症例からは、胞状奇胎を除く絨毛性疾患については婦人科腫瘍登録施設からのオンライン登録に一本化し、当該報告は「患者年報」にてご確認いただくことといたしました。

一方、胞状奇胎については、診断・治療が婦人科腫瘍登録施設以外で行われる場合が約半数を占めるため、引き続き 22 地域（1 道 21 県）を登録地域として定め、各施設における初回治療症例を対象に症例収集を行いました。各施設には別紙報告書様式により地域登録センターへご報告いただき、地域センターでの集計結果を本委員会に報告いただく形式で取りまとめています。登録成績は、各施設からの報告をそのまま集計しているため、登録実施施設数や登録率に一定のばらつきがある点につきましてはご注意ください。

本報告にご協力いただいた各施設の先生方ならびに、集計にご尽力いただいた各地域登録センターの先生方に深く感謝申し上げます。今後とも引き続きのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

婦人科腫瘍委員会委員長 佐藤 豊実

< 地域登録センター >

北海道	北海道大学医学部産婦人科
岩手県	岩手医科大学産婦人科
宮城県	東北大学医学部産婦人科
福島県	福島県立医科大学産婦人科
群馬県	群馬大学医学部産婦人科
栃木県	自治医科大学産婦人科
千葉県	千葉大学医学部産婦人科
神奈川県	神奈川県産科婦人科医会/昭和医科大学藤が丘病院産婦人科
静岡県	浜松医科大学産婦人科
新潟県	新潟大学医学部産婦人科
富山県	富山大学医学部薬学研究部産科婦人科
愛知県	名古屋大学医学部産婦人科
和歌山県	和歌山県立医科大学産婦人科
兵庫県	神戸大学医学部産婦人科
鳥取県	鳥取大学医学部産婦人科
島根県	島根大学医学部産婦人科
香川県	香川大学医学部周産期科女性診療科
福岡県	九州大学医学部産婦人科
長崎県	長崎大学医学部産婦人科
熊本県	熊本大学医学部産婦人科
鹿児島県	鹿児島大学医学部産婦人科
沖縄県	琉球大学医学部産婦人科

本報告に関するお問い合わせは婦人科腫瘍委員会にお願いいたします。

表1 胞状奇胎地域登録成績（2023年症例）

	1 北海道	2 岩手県	3 宮城県	4 福島県	5 群馬県	6 栃木県	7 千葉県	8 神奈川県	9 静岡県	10 新潟県	11 富山県	12 愛知県	
診断	1.全胞状奇胎	13	4	18	6	14	15	51	53	11	12	9	46
	(1-a) 病理診断（HE染色のみ）	12	3	8	2	5	8	18	29	9	8	6	12
	(1-b) 病理診断（HE染色 +p57KIP2免疫染色）	1	1	10	4	9	7	33	24	2	4	3	34
	2.部分胞状奇胎	1	5	5	4	9	4	22	32	12	16	2	27
	(2-a) 病理診断（HE染色のみ）	1	5	3	3	3	3	14	19	11	7	1	19
	(2-b) 病理診断（HE染色+p57KIP2免疫染色）	0	0	2	1	6	1	8	13	1	9	1	8
	3.胞状奇胎（分類なし）	0	0	0	0	0	0	5	0	4	0	0	8
	(3-a) 病理診断（HE染色のみ）	0	0	0	0	0	0	5	0	4	0	0	7
	(3-b) 病理診断（HE染色+p57KIP2免疫染色）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	（計）	14	9	23	10	23	19	78	85	27	28	11	81
治療 方法	1. 子宮内容除去術（再掻爬なし）	10	2	12	6	9	10	47	30	8	15	1	34
	2. 子宮内容除去術（再掻爬あり）	3	6	11	3	11	8	23	51	0	10	10	38
	3. 子宮内容除去術 （除去術後、他院へ紹介のため再掻爬有無不明）	1	1	0	1	1	1	7	0	3	3	0	5
	4. 子宮内容除去術 + 子宮全摘術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	5. 子宮全摘術のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	6. 自然排出（子宮内容除去術なし）	0	0	0	0	2	0	1	4	0	0	0	1
	7. その他・不明	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0
	（計）	14	9	23	10	23	19	78	85	27	28	11	81
	胞状奇胎登録施設数	162	45	88	65	61	53	145	351	143	67	32	235
	うち報告・連絡施設数	142	45	88	53	56	11	118	351	71	67	20	235
	今回の登録率（%）	87.7	100.0	100.0	81.5	91.8	20.8	81.4	100.0	49.7	100.0	62.5	100.0

表1 胞状奇胎地域登録成績（2023年症例）

	13 和歌山県	14 兵庫県	15 鳥取県	16 島根県	17 香川県	18 福岡県	19 長崎県	20 熊本県	21 鹿児島県	22 沖縄県	総計	
診断	1.全胞状奇胎	6	30	4	6	16	28	11	10	14	3	380
	(1-a) 病理診断（HE染色のみ）	2	12	1	1	5	4	6	7	14	1	173
	(1-b) 病理診断（HE染色 +p57KIP2免疫染色）	4	18	3	5	11	24	5	3	0	2	207
	2.部分胞状奇胎	4	17	1	7	2	12	2	0	0	7	191
	(2-a) 病理診断（HE染色のみ）	3	9	0	1	2	8	1	0	0	6	119
	(2-b) 病理診断（HE染色+p57KIP2免疫染色）	1	8	1	6	0	4	1	0	0	1	72
	3.胞状奇胎（分類なし）	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	18
	(3-a) 病理診断（HE染色のみ）	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	17
	(3-b) 病理診断（HE染色+p57KIP2免疫染色）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	（計）	10	47	5	13	18	41	13	10	14	10	589
治療 方法	1. 子宮内容除去術（再掻爬なし）	2	21	3	9	6	31	7	7	4	5	279
	2. 子宮内容除去術（再掻爬あり）	8	21	2	3	11	9	5	3	10	3	249
	3. 子宮内容除去術 （除去術後、他院へ紹介のため再掻爬有無不明）	0	4	0	0	0	1	0	0	0	2	30
	4. 子宮内容除去術＋子宮全摘術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	5. 子宮全摘術のみ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	6. 自然排出（子宮内容除去術なし）	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	10
	7. その他・不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	（計）	10	47	5	13	18	41	13	10	14	10	589
	胞状奇胎登録施設数	50	189	4	11	37	72	53	10	55	48	1,976
	うち報告・連絡施設数	39	124	4	11	6	54	53	5	55	48	1,656
	今回の登録率（%）	78.0	65.6	100.0	100.0	16.2	75.0	100.0	50.0	100.0	100.0	83.8

胞状奇胎報告書

報告日： 年 月 日

地域登録センター 行

胞状奇胎報告書（20XX年X月～X月）

医療機関名 _____

記入者氏名 _____

1. 胞状奇胎（あり・なし） 自施設で初回治療を行った症例です。

2. 1で胞状奇胎ありの場合、症例数を記載してください。

1. 全胞状奇胎 _____ 例
 - 1-a 病理診断（HE染色のみ） _____ 例
 - 1-b 病理診断（HE染色＋P57KIP2免疫染色） _____ 例
2. 部分胞状奇胎 _____ 例
 - 2-a 病理診断（HE染色のみ） _____ 例
 - 2-b 病理診断（HE染色＋P57KIP2免疫染色） _____ 例
3. 胞状奇胎（分類無し）* _____ 例
 - 3-a 病理診断（HE染色のみ） _____ 例
 - 3-b 病理診断（HE染色＋P57KIP2免疫染色） _____ 例

*全胞状奇胎、部分胞状奇胎のいずれかに分類されなかったもの

3. 1で胞状奇胎ありの場合、症例数を記載してください。

1. 子宮内容除去術（再掻爬なし） _____ 例
2. 子宮内容除去術（再掻爬あり） _____ 例
3. 子宮内容除去術（再掻爬有無不明） _____ 例（除去術後、他院へ紹介のため）
4. 子宮内容除去術＋子宮全摘術 _____ 例
5. 子宮全摘術のみ _____ 例
6. 自然排出（子宮内容除去術なし） _____ 例

4. 通信欄
